

在宅薬剤師 もり日記

第10回

作・画／株式会社ファーマシイ 森 聰子



ですから、調剤済麻薬が残ると、患者さんのご自宅や在宅医のもとに回収にうかがい、薬局に持ち帰って廃棄しま

す。手間がかかりますが、薬剤管理の観点から見ると意義深く、おざなりにできない作業です。それに、回収のためのご自宅訪問は、患者さんやそのご家族とお話をするきっかけにもなります。ただ、麻薬製剤は高価なものが多いので、廃棄量が多いときには再利用できたらどんなにいいだろうと考えることもしばしばあります。